

そんけいすべき ムスリムの みなさま！

ある ひの こと です。よげんしゃ (saw) は、きょうゆうたちに ハラール と ハラーム について いくつかの ことがらを ときあかした あと、つぎの ように くんかい しました。「**まことに、しんたいの なかにはひとつの にくの かたまりがある。それが けんぜんで あれば、ぜんしんも けんぜんで ある。しかし、それが くさって しまえば、ぜんしんも くさって しまう。じつに、その にくの かたまりとは ころで ある。**」¹

そんけいすべき ムスリムの みなさま！

アッラーと その しとを ころから しんじ、ぜんのうの アッラーの そうき（ズィクル）によって ころを みたす とき、ひとは しんの へいあんを えることが できます。ほんとうに、ぜんのうの しゅは、こんしゅうの きんよう れいはいの はじめに ろうどく された しょうくの なかで、つぎの ように つげて おられます。「……しんじて、アッラーを おもいおこすことを ころの やすらぎと する ものたち。**アッラーを おもいおこすことで、ころは やすらぐの ではないか。**」² クルアーンを ろうどく し、きき、まなび、おしえ、そして じんせいの あらゆる しゅんかんや きよくめんに おいて、その じひに みちた メッセージを かえりみる ひとの ころは、かみの おんちょうを やどす うつわと なります。しもべたちが、つかのまの ものから ころを ときはなし、えいえんなる ものへと むすびつける とき、イスラームの しんりに よって ころを みがき、くいあらためと ゆるしを もとめて つみから きよめられる とき、この よと らいせの いずれに おいても こうふくを える でしょう。この しんじつに わたしたちが ころを むける よう、ぜんのうの アッラーは さらに こう つげて おられます。「……**ざいも こどもも、なんの えきも もたらさない ひ、まったき ころを もって、アッラーの おんまえに くる ものを のぞいて。**」³

しんあいなる ムスリムの みなさま！

わたしたちの あいする よげんしゃ (saw) は、ころが かたく なって しまった と なげく きょうゆうに たいし、こまっている ものに ほどこしを し、おやを うしなった こどもに やさしさを しめすことで、ころを やわらかく する よう じよげん しました⁴。ほんとうに、わたしたちが おこなう あらゆる ぜんこうは、わたしたちの ころに うつくしさを うつします。はんりょや こどもたちに えがおを むけること、りょうしんを うやまうこと、りんじんの けんりを そんちょう すること、めうえの ひとを きづかうこと、びょうにんを みまうこと、おやを うしなった こどもを まもること——これら すべてが ころを やわらげ、たましいに へいおんを もたらします。わたしたちが すべきことは、アッラーの じひを うつす かがみで ある この ころを、ぜんこうに よって かざる ことです。だれかの ころを きずつけたり、おこらせたり することを さけ、しりよの あささによって ころを けがしたり、あくによって むしばまれたり、つみに よって くらく したり しない よう つとめましょう。いのりを とおして、また アッラーと クルアーンを おもいおこし、じぜんや、とくの ある おこないを つみかさねる ことによって、ころを いかしつづけましょう。イスラームの ひかりによって ころを てらす とき、わたしたちは アッラーに よろこばれる しもべと なれるのです。そのことを、わすれない ように しましょう。こんしゅうの きんよう れいはいの ホトバを、アッラーの しと (saw) による つぎの いのりをもって むすびます。「**アッラーよ、ひとびとの ころを さまざまな ほうこうへと みちびかれる おかたよ、どうか わたしの ころを あなたの しゅうきょうの うえに しっかりと おさだめ ください。**」⁵

¹ Bukhari, Iman, 39.

² Ra'd, 13/28.

³ Shu'ara, 26/88,89.

⁴ Ibn Hanbal, II, 387.

⁵ Tirmidhi, Da'awat, 89.